

2025 年度

事業報告書

特定非営利活動法人 地域ケアネットワークゆいまある

1 事業の成果

（1）目標：持続可能なゆいまあるの構築、ゆいまあるの新たな組織像・業務スタイルを皆で築き上げる。

*前年度 600 万の赤字決算だったこと、期末賞与を出すために貯蓄を切り崩したこと、年度当初に各部門の業績が伸びないことなどからキャッシュフローが悪化し、融資を受けた。また、長年赤字部門であった食事、交流カフェ部門の事業を終了することでマイナス累積を防いだ。更に後半期には役員報酬の全額カットと職員の手当のカットなどの対応を行うにあたり全職員説明会や臨時総会、状況説明文配布などを何度も行うことで、職員内に当事者意識が生まれ協力体制が強くなったともいえる。また、法人会員への寄付を大々的に募ったり公的補助金の申請もあり、年度末には何とか黒字決算となった。

*年度を通じてかなり切迫した経営状態だったことから事業運営の力不足が法人事業全体に影響を及ぼしていたことは否めず、NPO 法人を継続していくことへの不安も残っており今後の課題となっている。

*また、活動計画に挙げていた「職員教育」「労務環境の整備」「リスク管理」などといったことに十分に組み込んでいけなかったため、次年度への課題とする。

2 事業の実施に関する事項

（1）特定非営利活動に係る事業

（事業費の総費用【171,914】千円）

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
ホームヘルプ事業	介護保険、市の総合事業、障害、制度外等の身体介護、生活援助などの訪問介護。学生の研修受け入れ。	365 日 7 時～22 時	東久留米市内及び近隣の利用者宅	29 人	高齢・障害 研修受入は近隣大学生等。	120 人/月	48,928
デイサービス事業	介護保険及び総合事業等の通所介護。食事、送迎、入浴、機能訓練、学生の職場体験受入れ、他。	8 時半～17 時、月～金（年末年始休）	ゆいまある南沢デイルーム	14 人	高齢・障害、職場体験は中学生	15 人/日平均	31,479
居宅介護支援事業(ケアマネジメント)	介護給付及び、予防給付のケアプラン作成、サービス調整、モニタリング、認定調査など。福祉相談、認知症カフェ支援。	月～金 9 時～17 時半、緊急電話は 365 日 24 時間	ゆいまある南沢事務所～市内利用者宅	6 人	利用者：高齢・障害、相談は誰でも	介護 183 人/月、 予防 33 人/月	32,467
食事サービス事業	市の生活支援及び支え合い事業で配食や安否確認。障害者施設やヤングケアラーへの提供。2025 年 6 月 30 日を以って事業を終了した。	月～土の昼食、 月～金の夕食	南沢事業所厨房で作り市内利用者宅へ配達	12 人	高齢者、障害者	84 人/月	8,738
地域の居場所づくりの為に交流事業	地域の居場所・交流の場としてのコミュニティカフェ事業を 2025 年 4 月 18 日を以って終了した。	平日 11 時半～15 時半	カフェ笠松	1 人	地域住民、ボランティア	63 人/月	126
小規模多機能型居宅介護事業	予防含む介護保険の認定者対象で 24 時間 365 日、馴染みの関係で行う地域密着包括ケア。学生の職場体験・民生委員の研修・認知症サポーター養成講座受講者受入れ	365 日、 24 時間	ゆいまあるはちまん及び近隣の利用者宅	12 人	高齢・障害、職場体験・研修は中学生、民生委員、講座受講生	22 人/月平均	50,176